



2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 東
 コード番号 4576 URL <https://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 川上 哲也 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 2021年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	89	20.2	△50	—	△40	—	△41	—
2020年12月期第1四半期	74	△72.9	△50	—	△52	—	△43	—

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 △41百万円 (—%) 2020年12月期第1四半期 △53百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	△1.41	—
2020年12月期第1四半期	△1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	2,657	2,139	80.4
2020年12月期	2,737	2,163	78.9

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,136百万円 2020年12月期 2,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	—	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	340	△4.4	△580	—	△580	—	△530	—	△18.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 1 Q	29,305,300株	2020年12月期	29,251,100株
② 期末自己株式数	2021年12月期 1 Q	100株	2020年12月期	100株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 1 Q	29,283,345株	2020年12月期 1 Q	26,275,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間において、当社グループは新薬の継続的な創出と開発パイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進いたしました。

自社創製品については、「グラナテック®点眼液0.4%（以下、「グラナテック」）」の国内販売状況は順調に推移しております。ライセンスアウト先の興和株式会社では、同剤の海外展開を継続して検討しております。また、緑内障治療剤「H-1337」については、米国での自社開発の検討を進めております。

導入品については、「DW-1002」の欧州・米国等で上市済みの製品（製品名：ILM-Blue®、MembraneBlue-Dual®、TissueBlue™）は、ライセンスアウト先のDutch Ophthalmic Research Center International B.V.（以下、「DORC」）によって順調に販売されております。同剤のカナダについては、1月に承認取得いたしました。

その他ライセンスアウト済み開発パイプラインについては、ライセンスアウト先において開発が進められました。

研究開発プロジェクトについては、眼科関連疾患を中心に新薬候補化合物の探索のための研究開発活動及び他社との共同研究を推進いたしました。なお、4月19日には、SyntheticGestalt株式会社との間で炎症系、中枢系疾患を対象としてAIを用いた新規のキナーゼ阻害剤の創製を目的とした共同創薬を開始いたしました。

以上の結果、売上高については、各上市品のロイヤリティ収入及びGlaukos Corporation（以下、「Glaukos」）からの研究費受領等により、合計89百万円（前年同期比20.2%増）を計上し、売上原価に3百万円（前年同期比33.9%増）を計上しました。

販売費及び一般管理費については、136百万円（前年同期比12.2%増）となりました。その内訳は、研究開発費が65百万円（前年同期比5.8%増）、その他販売費及び一般管理費が人件費及び新株予約権の権利行使により資本金等の額が増加したことに伴う事業税（外形標準課税）の増加等により、71百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

これらにより、営業損失は50百万円（前年同期営業損失50百万円）となりました。営業外収益に為替差益11百万円を計上したこと等の結果、経常損失は40百万円（前年同期経常損失52百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失43百万円）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下の通りです。

(イ) 自社創製品

開発コード等		対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先
リパスジル 塩酸塩水和物	グラナテック	緑内障・高眼圧症	上市	日本	興和
			申請（一部地域承認含む）	アジア	
	K-321	角膜内皮障害 （フックス角膜内皮変性症）	第Ⅱ相臨床試験	米国	興和
リパスジル塩 酸塩水和物/ ブリモニジン 酒石酸塩	K-232	緑内障・高眼圧症	第Ⅲ相臨床試験	日本	興和
H-1337		緑内障・高眼圧症	第Ⅰ相/前期第Ⅱ 相臨床試験	米国	自社開発

(ロ) 導入品

開発コード等	対象疾患	開発段階	地域	ライセンスアウト先	起源
DW-1002	内境界膜剥離	上市	欧州	DORC	国立大学法人 九州大学
		上市	米国		
		承認	カナダ		
	内境界膜染色	第Ⅲ相臨床試験	日本	わかもと製薬 (WP-1108)	
白内障手術	第Ⅲ相臨床試験	日本			
DW-5LBT	帯状疱疹後の神経疼痛	申請	米国	メドレックスと共同開発 (MRX-5LBT)	メドレックス
DW-1001	眼科用治療剤 (非開示)	非臨床試験	日本	ロート製薬	英国企業
未熟児網膜症治療薬 (注1)	未熟児網膜症	臨床試験準備中	日本	子会社JIT開発	国立大学法人 東京農工大学

(注1) JITは未熟児網膜症等診断薬について、アジア一部地域における独占の実施権をSplendor Health International Limitedに再許諾するライセンス契約を締結しております。

(ハ) 研究開発プロジェクト

開発コード等	対象とする疾患等	開発段階	共同研究先
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	眼科関連疾患、神経、循環器、呼吸器系疾患	基礎研究	国立大学法人三重大学等
新規デバイス創出プロジェクト	緑内障、角膜障害、網膜疾患	基礎研究	Glaukos

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末から80百万円減少し、2,657百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末から69百万円減少し、2,433百万円となりました。主な要因は、売掛金が32百万円増加した一方で、現金及び預金が78百万円、流動資産のその他が22百万円減少したこと等によるものです。固定資産は、前連結会計年度末から11百万円減少し、223百万円となりました。主な要因は、契約関連無形資産が10百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末から55百万円減少し、517百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末から25百万円減少し、183百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が13百万円、未払金が9百万円減少したこと等によるものです。固定負債は、前連結会計年度末から30百万円減少し、334百万円となりました。この要因は、長期借入金が30百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末から24百万円減少し、2,139百万円となりました。主な要因は、新株予約権の権利行使等により、資本金及び資本剰余金が各々8百万円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が41百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、2021年2月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,308,210	2,229,385
売掛金	91,877	123,923
貯蔵品	58,324	58,205
その他	44,872	22,314
流動資産合計	2,503,284	2,433,828
固定資産		
有形固定資産	5,292	4,667
無形固定資産		
契約関連無形資産	205,714	195,428
その他	2,540	2,294
無形固定資産合計	208,254	197,723
投資その他の資産	20,879	20,872
固定資産合計	234,426	223,263
資産合計	2,737,711	2,657,091
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払金	37,637	27,943
未払法人税等	18,771	5,132
その他	33,396	30,743
流動負債合計	209,805	183,819
固定負債		
長期借入金	340,000	310,000
その他	24,000	24,000
固定負債合計	364,000	334,000
負債合計	573,805	517,819
純資産の部		
株主資本		
資本金	556,856	565,244
資本剰余金	2,655,571	2,663,959
利益剰余金	△1,051,280	△1,092,624
株主資本合計	2,161,147	2,136,579
新株予約権	2,758	2,692
純資産合計	2,163,905	2,139,271
負債純資産合計	2,737,711	2,657,091

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	74,589	89,688
売上原価	2,924	3,916
売上総利益	71,665	85,771
販売費及び一般管理費		
研究開発費	61,977	65,574
その他	59,758	71,001
販売費及び一般管理費合計	121,735	136,576
営業損失(△)	△50,070	△50,805
営業外収益		
受取利息	75	9
為替差益	—	11,049
その他	—	132
営業外収益合計	75	11,190
営業外費用		
支払利息	1,268	1,216
為替差損	1,372	—
その他	—	113
営業外費用合計	2,640	1,330
経常損失(△)	△52,636	△40,944
税金等調整前四半期純損失(△)	△52,636	△40,944
法人税、住民税及び事業税	398	398
法人税等合計	398	398
四半期純損失(△)	△53,034	△41,343
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,458	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△43,576	△41,343

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純損失(△)	△53,034	△41,343
四半期包括利益	△53,034	△41,343
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△43,576	△41,343
非支配株主に係る四半期包括利益	△9,458	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
減価償却費	10,779千円	11,156千円

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、創薬事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（譲渡制限付株式報酬としての新株式発行）

当社は、2021年4月15日開催の取締役会において、下記のとおり新株式の発行を行うことについて決議し、2021年5月13日に発行が完了いたしました。

1. 発行の目的及び理由

当社は、2018年2月15日開催の取締役会において、当社の取締役（社外取締役を除く。以下、「対象取締役」）及び当社子会社の取締役（社外取締役を除く。以上を総称して以下、「対象取締役等」）が、株価変動のメリットとリスクを株主の皆様と共有し、株価上昇及び企業価値向上への貢献意欲を従来以上に高めるため、対象取締役等に対し、譲渡制限付株式を交付する株式報酬制度（以下、「本制度」）を導入することを決議いたしました。

また、2018年3月29日開催の第20期定時株主総会において、本制度に基づき、対象取締役等に対する譲渡制限付株式に関する報酬等として支給する金銭報酬債権の総額を年額300万円以内として設定することにつき、ご承認をいただいております。

2. 発行の概要

払込期日	2021年5月13日
発行する株式の種類及び数	当社普通株式53,300株
発行価額	1株につき297円
発行総額	15,830,100円
資本組入額	1株につき148.5円
資本組入額の総額	7,915,050円
募集又は割当方法	特定譲渡制限付株式を割り当てる方法
出資の履行方法	金銭報酬債権の現物出資による
割当対象者及びその人数並びに割当株式数	当社の取締役（社外取締役を除く）2名に対して46,200株当社子会社の取締役（社外取締役を除く）4名に対して7,100株
譲渡制限期間	2021年5月13日～2024年5月12日
その他	本新株発行については、金融商品取引法による有価証券通知書を提出しております。